

まじめに感動素材

TAYCA REPORT

第158期 中間報告書

2023年4月1日から2023年9月30日まで

TAYCA
テイカ株式会社
証券コード：4027

トップメッセージ

Top Message

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は2023年9月30日をもって、第158期の第2四半期連結累計期間を終了しましたので、決算の概況などをご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類へ移行されたことに伴い、経済活動の正常化が進み、景気は緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、ウクライナ情勢の長期化等起因する原燃料価格の高止まりや中国経済の下振れ懸念や世界的な金融引き締めの影響等により、依然として先行きは不透明な状況で推移しました。

このような状況の下、当社グループは中期経営計画「MOVING-10 STAGE1」に沿って、「変革による拡大」と「新素材の創出」に注力するとともに、製造原価の低減や業務効率の向上に取り組んでまいりました。当第2四半期連結累計期間は、国内化粧品向け機能性微粒子製品の販



代表取締役 社長執行役員
出井 俊治

売が回復したものの、原燃料価格の高止まりによるコスト上昇に加えて、導電性高分子薬剤の販売が低調であったこと等により、売上高は270億9千8百万円(前年同期比2.4%減)、営業利益は14億2百万円(前年同期比48.9%減)、経常利益は16億5千5百万円(前年同期比46.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億2千7百万円(前年同期比47.9%減)となりました。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

株主の皆様への利益還元を充実させるため、当期の中間配当は1株当たり18円とさせていただきます。

年間配当金(2024年3月期)

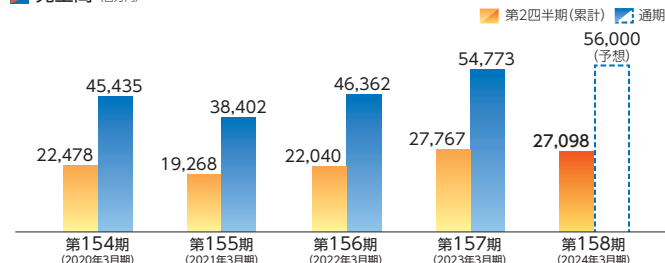
中間 18円

期末 20円 (予定)

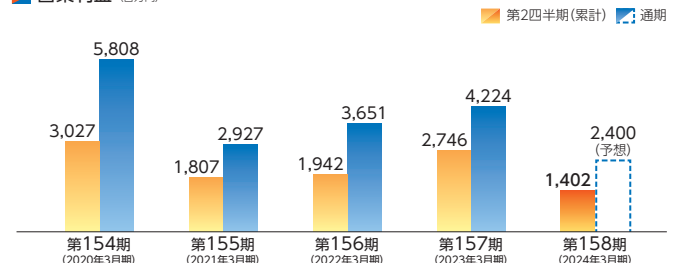
連結財務ハイライト

Consolidated Financial Highlights

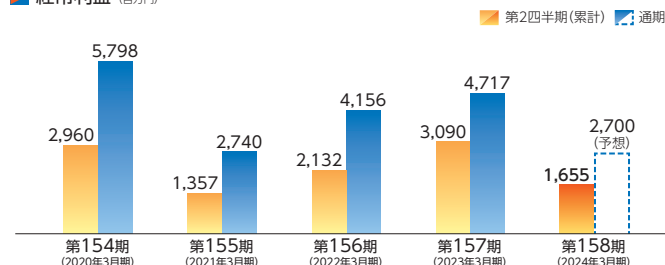
売上高 (百万円)



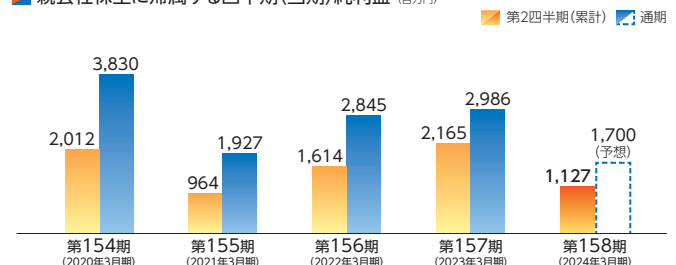
営業利益 (百万円)



経常利益 (百万円)



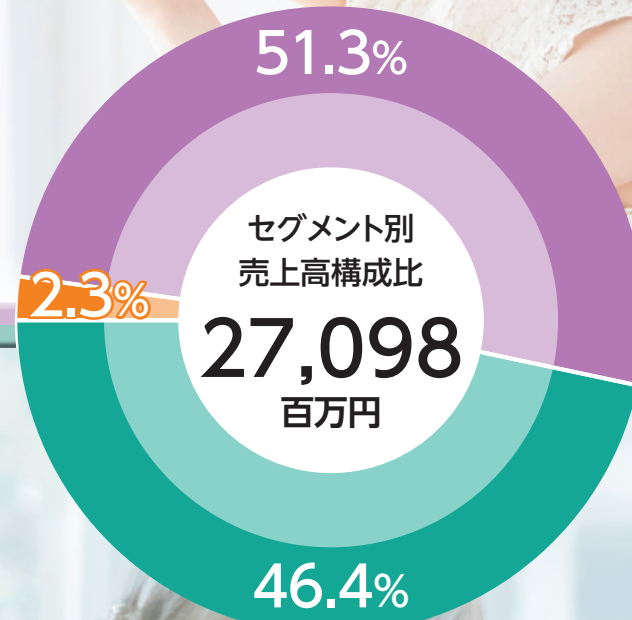
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (百万円)



機能性材料事業

酸化チタン、微粒子酸化チタン、
微粒子酸化亜鉛、
表面処理製品等の製造・販売

- 汎用用途の酸化チタンは、国内外の需要が低調に推移し、販売数量は前年同期を下回る。
- 機能性用途の微粒子酸化チタン、微粒子酸化亜鉛及び表面処理製品は、新型コロナウイルス感染症の各種行動制限の解除に伴い国内化粧品向けが回復し、販売数量、売上高ともに前年同期を上回る。



電子材料・化成品事業

圧電材料、導電性高分子薬剤、
界面活性剤、無公害防錆顔料等の製造・販売

- 圧電材料は、海外連結子会社は好調に推移したものの、医療機器用の海外顧客の在庫調整のため、売上高は前年同期を若干下回る。
- 導電性高分子薬剤は、パソコン、スマホ等のICT機器関連の販売が低調に推移し、販売数量、売上高ともに前年同期を下回る。
- 界面活性剤は、海外連結子会社の販売は堅調に推移したものの、日用品の洗剤用途向けの販売が低調に推移し、販売数量、売上高ともに前年同期を下回る。
- 無公害防錆顔料は、国内向けは前年同期並みに推移したものの、海外向けの販売が低調で、販売数量、売上高ともに前年同期を下回る。

その他

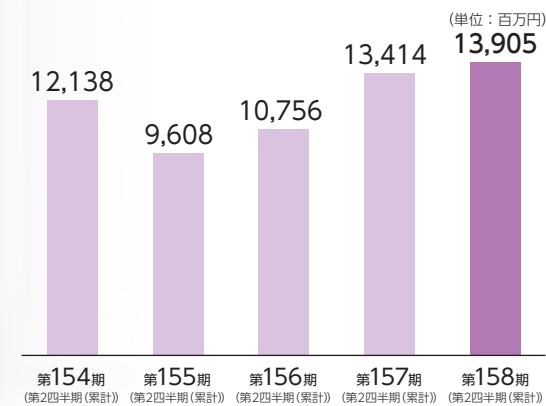
化学工業薬品等の輸送・保管

- 倉庫業は、主要顧客の取扱量が減少したことにより、売上高は前年同期を下回る。

売上高

13,905百万円

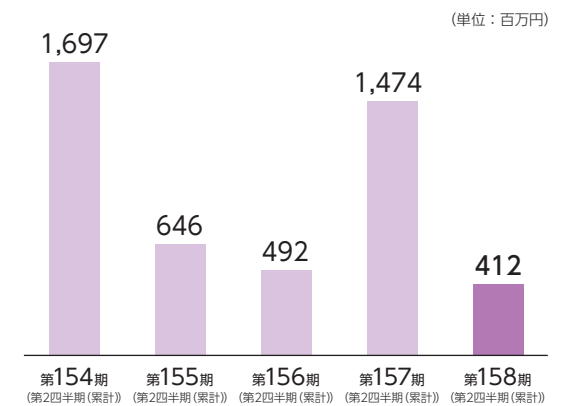
前年同期比 3.7%増



営業利益

412百万円

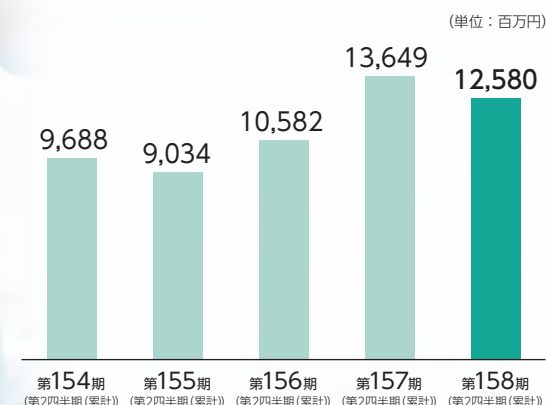
前年同期比 72.0%減



売上高

12,580百万円

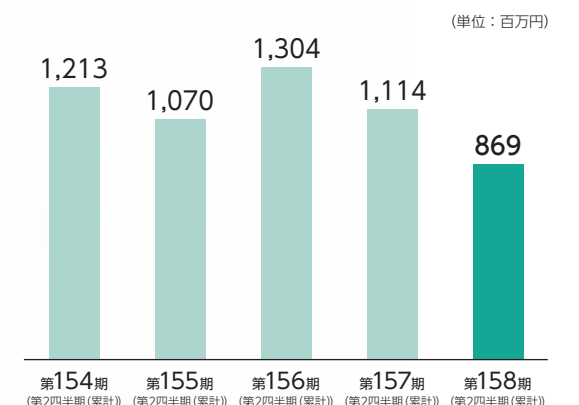
前年同期比 7.8%減



営業利益

869百万円

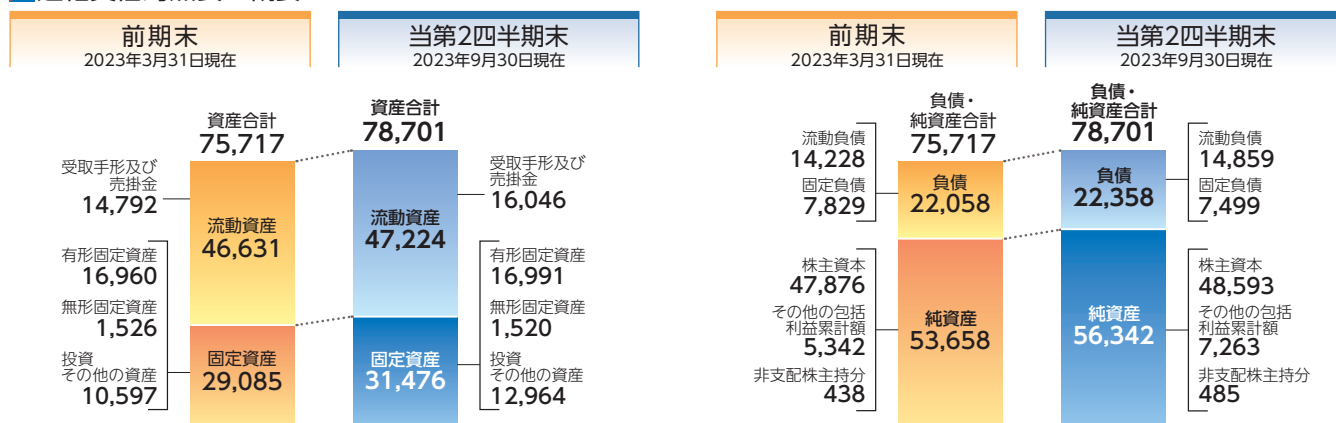
前年同期比 22.0%減



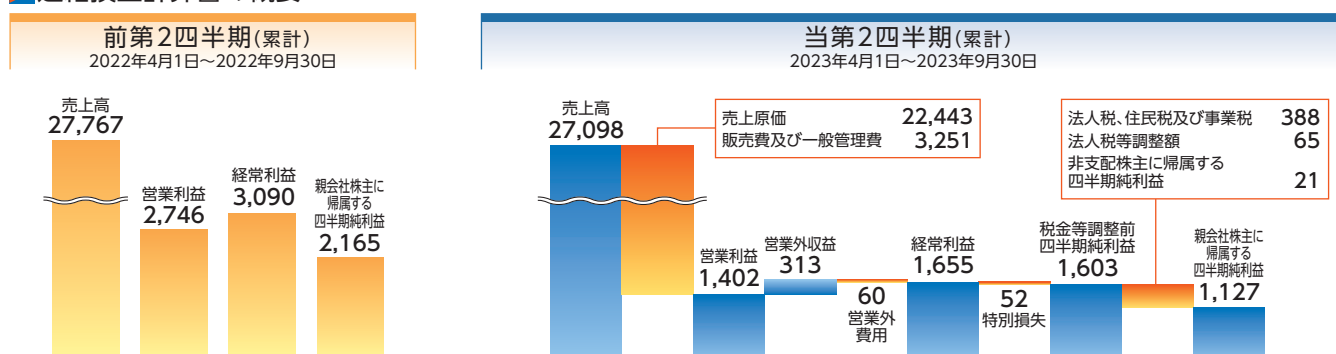
※1 第155期第1四半期会計期間より、報告セグメントを従来の「酸化チタン関連事業」「その他事業」の2区分から「機能性材料事業」「電子材料・化成品事業」の2区分に変更しております。

※2 報告セグメント区分の変更に伴い、第154期の数値に関しては、変更後の算定方法及び変更後のセグメント区分にて組み替えた数値で比較をしております。

連結貸借対照表の概要 (単位:百万円)



連結損益計算書の概要 (単位:百万円)



TOPICS
トピックス

IFSCC国際化粧品学術大会にて当社研究発表がトップ10に選出



2023年9月4日～7日にスペインのバルセロナで開催されました国際化粧品技術者連盟(IFSCC)が主催する世界最大の権威ある化粧品学術大会「IFSCC Congress2023」にて口頭発表を行いました。

全世界から多数投稿される中、76件しか選ばれない口頭発表に選ばれるとともに、その発表内容が認められ、トップ10にも選出されました。本発表を通して、多数の参加者の前で当社の技術をアピールすることができました。

発表タイトル 処方技術と原料設計技術を駆使した
高い紫外線防御能を有する
水中油(O/W)型のミネラルサンスクリーンの設計

◀学術大会プログラム
<https://ifsc2023.com/detailedprogram>

CO₂排出量削減への取り組み ～液化天然ガス(LNG)設備導入～

当社は、岡山工場(岡山県岡山市)敷地内にLNG設備を導入することを決定しました。

現在、岡山工場の発電設備は、石炭と重油を用いていますが、石炭を燃料とした発電設備は二酸化炭素(CO₂)の排出量が多いため、石炭からLNGに燃料転換することで、発生するCO₂を削減することが可能となります。

当社グループのCO₂排出量削減への詳細な取り組みについては、当社ウェブサイトにも掲載しております。

LNGとは?

LNGの正式名称は「Liquefied Natural Gas(液化天然ガス)」で、石炭に比べて燃焼時のCO₂や大気汚染の原因とされるNO_x(窒素酸化物)の発生量が少なく、SO_x(硫黄酸化物)とばいじんが発生しない、環境負荷の低いエネルギーとして注目されています。



当社ウェブサイト
<https://www.tayca.co.jp/environment/>



テイカ花子
ご案内!



第6回 化粧品原料その3

～なぜ、テイカの機能性微粒子製品は化粧品原料に選ばれるのか?～

その1

～ 表面処理技術 ～

テイカ独自の高度な表面処理技術により、様々な特性を持つ製品の製造が可能であり、さらに、個々の粒子に表面処理できていることで、付与した特性を最大限に発揮させることができるため。

その3

～ 生産能力、管理体制 ～

岡山県内に3つの機能性微粒子製品の製造工場があり、生産能力が高いことに加えて、GMP対応などの各国法規制に適合した製品を作り出す管理体制が整っているため。

その2

～ 粒子径コントロール技術 ～

テイカの製造技術により、非常に小さなサイズ(粒子径)の製品製造が可能であり、さらに、他社品と比較して粒子径がそろっており、経時安定性も高く、特性も活かすことができるため。

その4

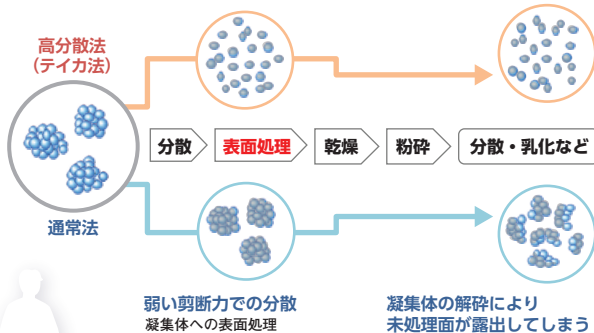
～ 充実のサポート体制 ～

テイカ製品を最大限にご活用いただける様々な情報を提供し、研究所や営業部を中心に、お客様の要求に対してサポートできる体制が整っているため。

1. 表面処理技術

強い剪断力での分散
特殊な分散機によって分散された
個々の粒子に表面処理

未処理面の露出がなく
容易に分散可能

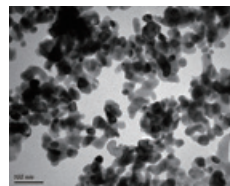


2. 粒子径コントロール技術

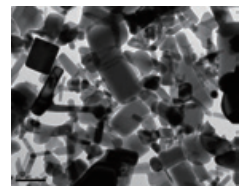
粒子径が非常に小さく、そのサイズがそろっていることにより...

- ①化粧品を塗ったときに、白くなることを防ぐ。
- ②紫外線遮蔽能力を効果的に発揮させることができる。
- ③経時での安定性を高めることができる。

テイカ品



他社品



機能性微粒子製品の電子顕微鏡写真

3. 生産能力、管理体制

機能性微粒子製品製造設備

- 岡山県内に3つの工場を配置
- 生産能力 5,200トン/年
- 管理体制
国際的な製造品質管理基準である「原薬GMP」に基づく管理体制



さらに、約50億円の投資を行い、
2025年度には新たな
微粒子製品製造工場を新設予定

機能性
微粒子製品

4. サポート体制

岡山、東京、大阪の3か所の研究所等を通じて、テイカ製品をお客様に最大限にご活用いただけるよう、様々な情報の発信を行っています。

研究所

- ①岡山研究所
- ②東京クリエーションラボラトリー
- ③大阪研究所



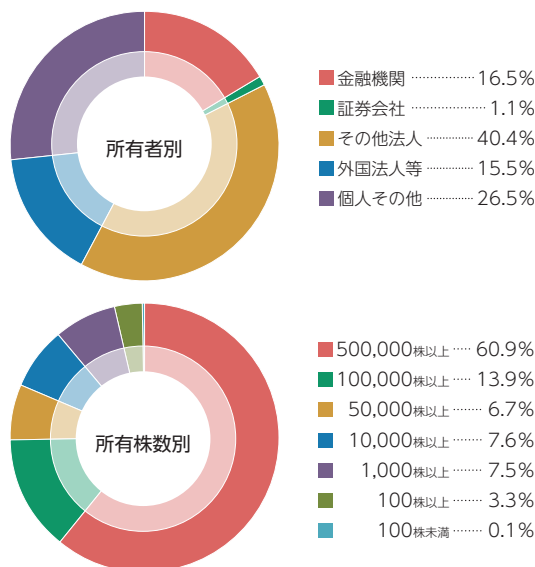
研究所等を通して、
お客様との「距離」をゼロに!

発行可能株式総数 75,000,000株
発行済株式の総数 25,714,414株
株主数 4,759名
大株主

順位	株主名	所有株式数 (千株)
1	CACEIS BANK/QUINTET LUXEMBOURG SUB AC/UCITS CUSTOMERS ACCOUNT	2,437
2	三井物産株式会社	1,784
3	日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,649
4	三菱商事株式会社	1,630
5	山田産業株式会社	1,470
6	みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行	1,009
7	テイカグループ持株会社	838
8	中央日本土地建物株式会社	694
9	株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	670
10	関西ペイント株式会社	612

(注) 当社は、自己株式2,535千株を保有しておりますが、上記には含めておりません。

分布状況



会社概要 (2023年9月30日現在)

Corporate Profile

創 立 1919年(大正8年)12月
資 本 金 9,855,953,999円
従 業 員 556名
事業内容 各種化学工業薬品の製造、販売(酸化チタン、界面活性剤、硫酸、微粒子酸化チタン、表面処理製品、無公害防錆顔料ほか)
事 業 所
本社事務所 大阪市中央区谷町4丁目11番6号
〒540-0012 電話(06)6943-6401(代)
本 店 大阪市大正区船町1丁目3番47号
大阪工場 〒551-0022 電話(06)6555-3250(代)
東京支店 東京都中央区日本橋3丁目8番2号
〒103-0027 電話(03)3275-0815(代)
岡山工場 岡山市東区西幸西1072番地
〒704-8136 電話(086)946-8311(代)
熊山工場 岡山県赤磐市小瀬木50番地1
〒709-0717 電話(086)995-9290(代)

役 員 代表取締役 社長執行役員 出 井 俊 治
取締役 常務執行役員 西 野 雅 彦
取締役 常務執行役員 中 務 康 介
取締役 上席執行役員 岩崎多摩太郎
取締役 上席執行役員 村 田 悦 宏
取締役 常勤監査等委員 宮 崎 晃
社外取締役 監査等委員 田 中 等
社外取締役 監査等委員 山 本 浩 二
社外取締役 監査等委員 尾 崎 まみこ
社外取締役 監査等委員 井 上 剛

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会基準日 3月31日
期末配当金受領株主確定日 3月31日
中間配当金受領株主確定日 9月30日
定 時 株 主 総 会 6月下旬
単 元 株 式 数 100株
株 主 名 簿 管 理 人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関
同 連 絡 先 〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話0120-094-777 (通話料無料)
公 告 方 法 電子公告
公告掲載URL <https://www.tayca.co.jp/>
(ただし、電子公告により行うことができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告を掲載いたします)
上 場 証 券 取 引 所 東京証券取引所 プライム市場

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取・買増請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



<https://www.tayca.co.jp/>



本印刷物は、FSC®認証紙と植物油インキを使用 見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。